

複合仕訳上で追加仕訳の加算金額の自動合計

株式会社共生会計

本資料では、銀行からの仕訳データに追加仕訳を設定した場合に加算処理を自動計算する方法の手順を明記しております。

銀行からのデータが以下の通りとします。

普通預金：295,957円 売掛金：295,957円

この変換設定に「手数料：1,000円」の追加仕訳をして以下の複合仕訳を生成します。

普通預金：295,957円 売掛金：296,957円
支払手数料：1,000円

この仕訳を生成するための「追加仕訳の設定」をご説明致します。

まず、以下の追加設定の画面を表示して、「複合仕訳として処理する」をチェックして、金額を入力します（今回は「1000」です）。摘要の入力が必要な場合は、「借方摘要」を入力して下さい。

追加仕訳の新規登録

日付、金額、摘要 | 科目、補助、部門

かんたん追加仕訳の選択

かんたん追加仕訳を利用する [説明を読む](#)

仕訳種別オプション

複合仕訳として処理する 右の日付と一致した時に仕訳を追加する 西暦 [指定なし] 年 [指定なし] 月 [指定なし] 日

借方金額

親仕訳データの借方金額から下記の額を減算する
1000 円

親仕訳データの借方金額の指定比率を指定する(親仕訳から減算されます)
パーセント

摘要1
摘要を入力します

摘要2

摘要3

貸方金額

親仕訳データの貸方金額から下記の額を減算する
円

親仕訳データの貸方金額の指定比率を指定する(親仕訳から減算されます)
パーセント

摘要1

摘要2

摘要3

登録する キャンセル

次に「勘定科目」の設定を行います。今回の設定では、「借方側」の情報を以下のように設定します。

追加仕訳の新規登録	
日付、金額、摘要	科目、補助、部門
借方	貸方
借方勘定科目 支払手数料	貸方勘定科目 [指定なし]
借方補助科目 [指定なし]	貸方補助科目 [指定なし]
借方部門 [指定なし]	貸方部門 [指定なし]
借方税区分 課対仕入	貸方税区分 [指定なし]

借方勘定科目で「支払手数料」を設定しております。

ここで注意点ですが、「貸方勘定科目」を設定するとこの金額の自動計算を行いません。仮に貸方勘定科目を「売掛金」と同一の勘定科目に設定しても、勘定科目が設定された場合は、その勘定科目で追加仕訳が設定されます。

この設定を行ったら「登録する」を選択して保存します。

変換設定の変更

基本情報
登録日時: 2013/11/29 17:24:22
更新日時: 2013/01/01 00:00:00
優先順位: 150

変換設定のオプション
 「文字列の変換」と「科目、補助、部門の変換」を行わない
 「文字列の変換」と「科目、補助、部門の変換」を行った後、ゴミ箱に移動する

比較の条件 文字列の変換 科目、補助、部門 追加仕訳

エクスポート 新規登録

No.	年	月	日	計算方法	借方勘定科目	借方補助科目	借方部門	借方金額	借方金額比率
4	-	-	-	-	支払手数料			¥1,000	

更新する キャンセル

仕訳データを一度削除して再度コンバートすると以下の仕訳データが生成されます。

早業BANK 8 - [早業BANK 8・第1期(H.25/01/01-H.25/12/31) -]

ファイル(F) データ(D) 設定(T) アシスタント(S) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

No.	日付	借方勘定科目	借方金額	借方摘要1	貸方勘定科目	貸方金額	貸方摘要1
2542	2013/05/27	支払手数料	1,000				
2542	2013/05/27	普通預金	296,957		売掛金	296,957	

未変換リスト(銀行)(79) | 未変換リスト(Excel) | 仕訳エディタ(2) | 変換設定(1) | 二重仕訳設定 | ホームページ

借方合計:296,957 貸方合計:296,957 貸借バランス:0 件数:2件中1 - 2 表示件数(すべて)

以上